Section 03

ホーム画面の使い方を覚える

iPhoneのホーム画面では、アイコンをタップしてアプリを起動したり、ホーム画面を左右に切り替えたりすることができます。また、ウィジェットで情報を確認することも可能です。

1

iPhoneのホーム画面

ステータスバー：インターネットへの接続状況や現在の時刻、バッテリー残量などのiPhoneの状況が表示されます。

ウィジェット：ニュースや天気など、さまざまなカテゴリの情報をウィジェットで確認することができます（Sec.06参照）。

Appアイコン：インストール済みのアプリのアイコンが表示されます。

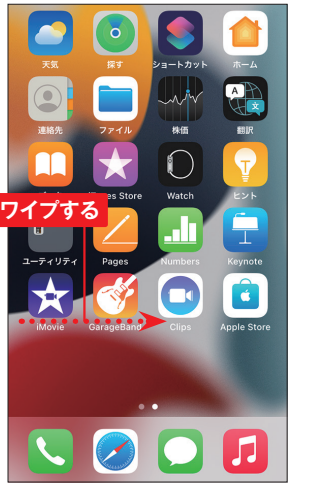
Dock：よく使うアプリのアイコンを最大4個まで設置できます。ホーム画面を切り替えても常時表示されます。

ホーム画面の位置：ホーム画面の数と、現在の位置を表します。

ホーム画面を切り替える

① ホーム画面を左方向にスワイプします。

② 右隣のホーム画面が表示されます。画面を右方向にスワイプすると、もとのホーム画面に戻ります。



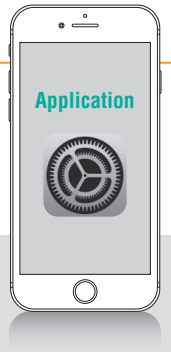
③ もとのホーム画面から右方向にスワイプすると、ウィジェットが表示されます。画面を左方向にスワイプすると、もとのホーム画面に戻ります。

④ ホーム画面を何回か左方向にスワイプすると、アプリが各ジャンルごとに自動的に振り分けられたAppライブラリが表示されます。何回か右方向にスワイプすると、もとのホーム画面に戻ります。

1

Section 18

メールを設定する



iPhoneでは、テキストでの連絡用に「メール」と「メッセージ」の2つのアプリが用意されています。まずは、両者を利用するための設定を行いましょう。

「メール」アプリと「メッセージ」アプリ

iPhoneでは、「メール」と「メッセージ」というアプリを使って、相手とテキストで連絡を取り合えます。「メール」アプリでは、パソコンのメールソフトのように、「iCloudメール」や「Gmail」など複数のメールアカウントを設定して、それぞれ使い分けることができます。会社やプロバイダーのメールアカウント、またソフトバンクが提供するEメール（i）のメールアカウントも登録可能です。

一方「メッセージ」アプリは、SMSとMMS、iMessageの3つのサービスが利用できます（Sec.22参照）。送受信した内容が吹き出しのように画面の左右に一覧表示され、これまでの経緯をすぐ確認できるのが特徴です。

ソフトバンクのiPhoneでは、「メール」アプリと「メッセージ」アプリに別々のアドレスを設定して受信内容を管理します。まずはSafariから「My SoftBank」にログインし、アドレス変更などの設定を完了させましょう。

「メール」アプリは、携帯電話と同じようにEメールを利用できます。

「メッセージ」アプリは、やりとりした内容をすぐに確認できます。

My SoftBankにログインする

① Wi-Fiに接続している場合は接続を解除します。ホーム画面で🧭をタップし、画面下にある📖をタップしてブックマークを開きます。

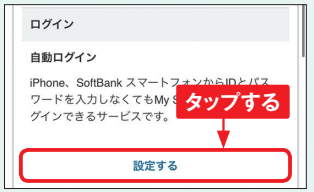
② ［My SoftBank］をタップします。

③ ［My SoftBankにログイン］をタップします。

④ 携帯電話番号とパスワードを入力し、［ログインする］をタップします。

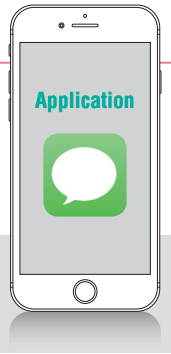
MEMO すでにログインされている場合

「My SoftBank」の「自動ログインの設定」が「利用する」になっている場合、手順②のあと、すでにログインした状態で「My SoftBank」画面が開きます。「自動ログインの設定」は、手順④のあとの画面で、［メニュー］→［アカウント管理］→「自動ログイン」の［設定する］をタップすると確認、変更ができます。



Section 22

iMessageの便利な機能を使う



「メッセージ」アプリでは、音声や位置情報をスムーズに送信できる便利な機能が利用できます。なお、それらの機能を利用できるのは、iMessageが利用可能な相手のみとなります。

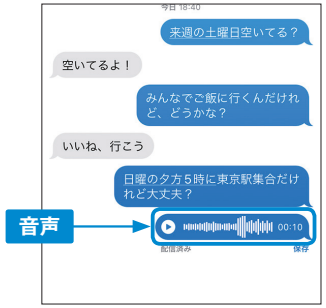
音声をメッセージで送信する

① 「メッセージ」アプリでiMessageを利用中に、をタッチします。

② 音声の録音が開始されます。画面をタッチしている間、録音されます。録音が完了したら指を離します。

③ 音声をそのまま送信する場合は、をタップします。をタップすると、録音したメッセージが再生されます。をタップすると、キャンセルできます。

④ 音声が送信されます。



位置情報をメッセージで送信する

① 「メッセージ」アプリでiMessageを利用中に、相手の名前をタップします。

② ［現在地を送信］をタップします。位置情報に関する項目が表示されたら［Appの使用中は許可］をタップして、「メッセージ」アプリの使用許可を行います。

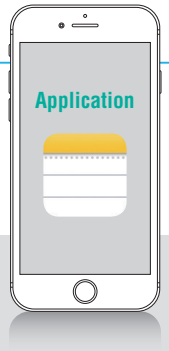
③ 位置情報が送信されます。タップすると「現在地」画面が表示され、さらに地図をタップすると、全画面で地図が表示されます。

MEMO 「メッセージ」アプリで使える機能

手順①の画面でをタップすると、メッセージ内で使えるステッカーを探すことができます。をタップすると、スケッチやタップ、ハートビートなどを送信できます。をタップすると、GIF画像が表示され、メッセージに追加して送信できます。をタップすると、「ミュージック」アプリ内の曲を共有できます。なお、をタップすると、項目の並べ替えや削除ができます。

Section 47

メモを利用する



iPhoneの「メモ」アプリでは、通常のキーボード入力に加えて、スケッチの作成や、写真の挿入などが可能です。iCloudと同期すれば、作成したメモをAppleのほかの製品と共有できます。

メモを作成する

① ホーム画面で［メモ］をタップします。初回起動時は説明画面が表示されるので、［続ける］をタップします。

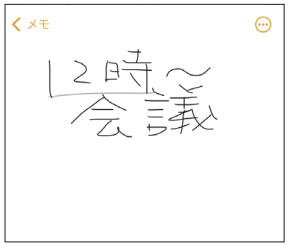
② をタップします。

③ 新規メモの作成画面が表示されます。キーボードで、文字や絵文字を入力することができます。入力が完了したら、［完了］をタップし、保存します。

④ 手順③の画面でAaをタップすると、下のメニューから文字の大きさや太さ、装飾などを選ぶことができます。

「メモ」アプリの機能

●手書きスケッチ

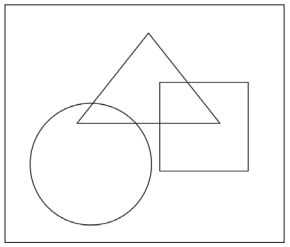


P.176手順③の画面でⒶをタップすると、手書き入力モードに切り替わります。画面をドラッグすることで、文字や絵を描くことが可能です。また、画面下部に表示されているペンをタップすることで、ペンの種類を変更できます。をタップすると消しゴムを利用でき、をタップして文字を囲むと、囲んだ文字の移動ができます。

●写真内の文字検索

P.176手順③の画面でをタップし［書類をスキャン］をタップするとメモに読み込んだ写真内の文字（英数字）が自動的に解析され、P.176手順②の画面で検索することができます。写真やスクリーンショットであれば文字認識の対象になりますが、本書執筆時点では日本語表記（かな／漢字）の文字認識には対応していません。

●図形認識



手書き入力モードの際、自由に描いた図を直線や三角形などの図形として認識する機能が付いています。画面をドラッグし、一筆で図を描きます。そのまま画面から指を離さずにいると自動で図形に認識してくれるので、任意の図形に認識されたら指を離します。

●メモのピン留め

メモ一覧の画面を表示し、ピン留めしたいメモを右方向にスワイプして、をタップします。すると、メモ一覧の上部に、選択したメモが固定されて表示されます。ピン留めを外す場合は、固定されたメモを右方向にスワイプし、をタップします。

Section 66

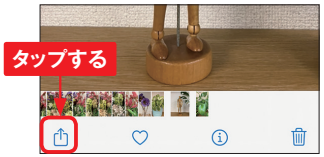
プライバシー設定を理解する

iPhoneでは、プライバシーに関する機能が強化されています。写真に付与された位置情報を削除できるほか、アプリがカメラやマイクにアクセスしていることが一目でわかります。

プライバシー設定の機能を利用する

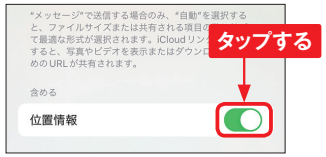
●写真の位置情報を削除する

1 Sec.40を参考に写真を表示し、をタップします。



2 ［オプション］をタップします。

3 「位置情報」のをタップすると、写真を共有する際に位置情報を削除することができます。



●アプリのカメラやマイクの使用を確認する

1 カメラやマイクを使用するアプリを起動すると、画面右上にカメラやマイクの使用を示すインジケーターが表示されます。

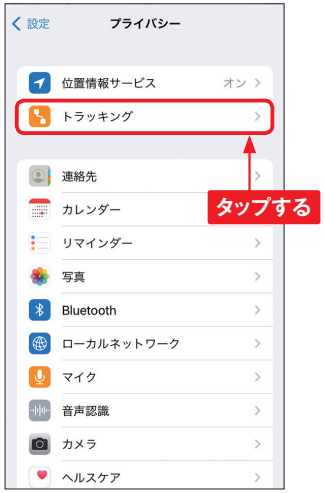
MEMO インジケーターの種類

上記のインジケーターがオレンジ色の場合は、アプリがマイクを使用しています。緑色の場合は、アプリがカメラもしくはカメラとマイクの両方を使用しています。

●アプリのトラッキングを完全に拒否する

1 ホーム画面で［設定］→［プライバシー］の順にタップします。

2 ［トラッキング］をタップします。



3 「Appからのトラッキング要求を許可」のをタップすると、アプリのトラッキング（広告表示などに利用される利用者情報の収集）の許可画面すら表示せず、オフにすることができます。

MEMO アプリのトラッキングとは

ゲームなどの広告が表示されるアプリを起動した際、アプリのトラッキングを許可するかどうか確認する画面が表示されることがあります。これは、アプリやWebの利用履歴をもとに広告を表示してよいかどうかの確認のことで、その場で許可するかどうか決めることができます。利用履歴をもとにした広告を一切表示したくない場合は、上記の方法でアプリのトラッキングを完全に拒否することが可能です。